

特集 令和6年度予算

繰越金で収支を維持し、保険料据え置き

令和4年度の全国1383組合における健保組合の決算見込みは、納付金等の大幅な減少により、黒字での決算となりました。一方、全体の40%を超える559組合が赤字となる見込みです。

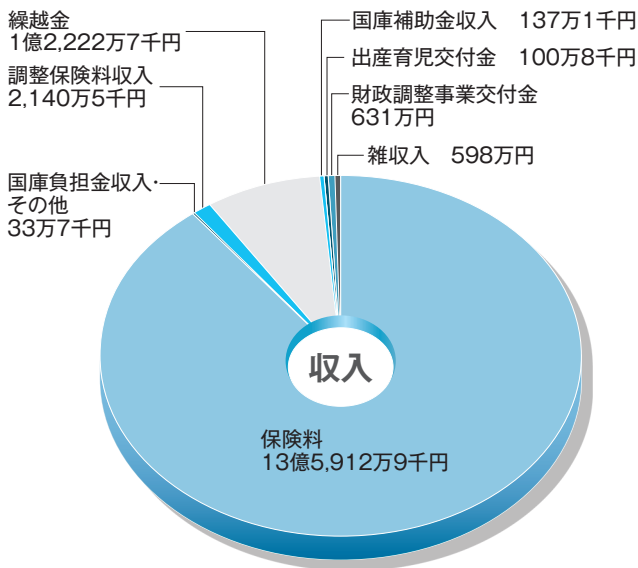
健保組合を取り巻く状況は、医療費のさらなる増加傾向に加え、団塊の世代が75歳以上となり後期高齢者へ移行し始めたことに伴う後期高齢者支援金の増加が見込まれるなど、厳しい局面が続いています。政府は、全世代型社会保障の構築をめざし、後期高齢者の保険料負担の見直しを含む健康保険法等の一部改正を行いました。

このような厳しい状況のなか、当健保組合においては、前年度からの繰越金により収支の均衡を図る予算となっています。財政の健全化に向けて、これまで以上に効率的・効果的に保健事業を推進してまいります。加入者の皆様もぜひ当健保組合が実施している各種保健事業のご利用をよろしくお願いいたします。

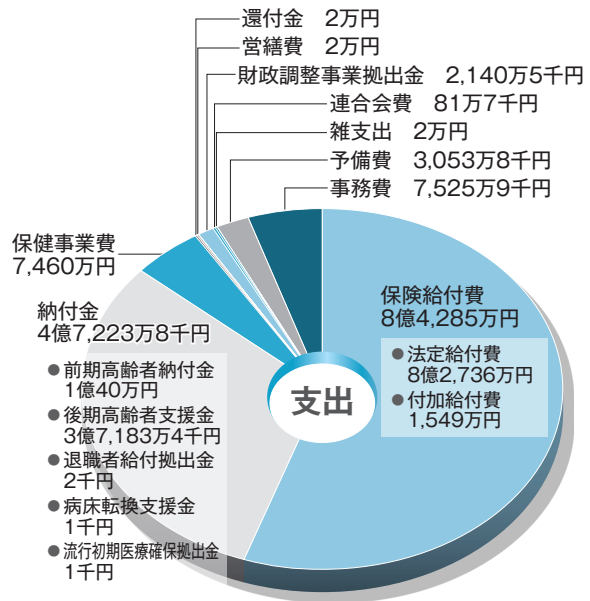
■ 基礎数値

被保険者数	2,390人
平均標準報酬月額	443,000円
総標準賞与額(年間合計)	3,917,319千円
被扶養者数	2,056人

一般勘定



収入合計	15億1,776万7千円
経常収入	13億6,778万1千円



支出合計	15億1,776万7千円
経常支出	14億6,578万4千円

経常収支差引額 ▲9,800万3千円

収入

保険料収入は前年度並の見込み

保険料収入は、被保険者数は減少したものの総標準賞与額の増加により、前年度並の約13億6千万円となる見込みです。

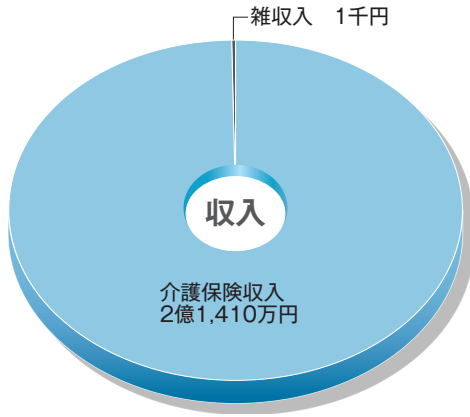
収入不足を補うため、前年度からの繰越金を約1億2千万円繰り入れて予算編成しています。

支出

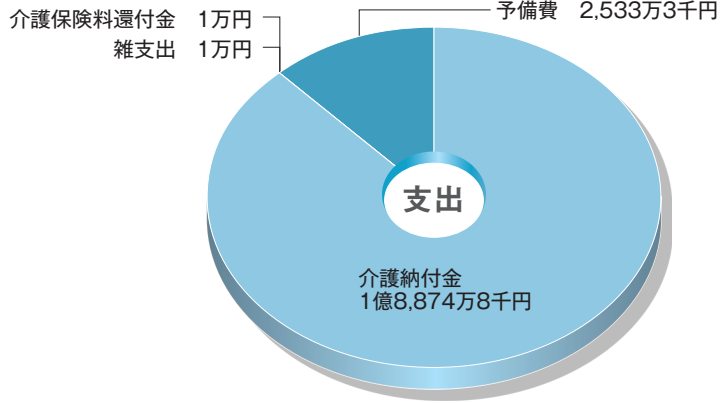
納付金の負担が減少

おもに皆様の医療費に支払われる保険給付費は、対前年度比1000万増の約8億4千万円となる込みです。また、高齢者医療を支える納付金は、対前年度比4千万円減の約4億7千万円を見込んでいます。

介護勘定



収入合計 2億1,410万1千円



支出合計 2億1,410万1千円

令和6年度に実施する保健事業の内容

病気の予防対策

- 各種検査費用の負担および補助
 - 胃検診(定期健診時)
 - 大腸がん検診(定期健診時)
 - HBs 抗原検査(定期健診時)
 - HCV 抗体検査(定期健診時)
 - 特定健診(家族健康診断)・特定保健指導(随時)
 - 子宮がん・乳がん検診(随時)
 - レディース健診(随時)
- 人間ドック費用補助
 - 病院直接支払い補助(随時)
 - 個人受診ドック補助(随時)
- 電話によるメンタルヘルスカウンセリング(随時)
- 家庭用常備薬斡旋(年2回)
- 無料歯科健診(随時)

保健衛生の広報

- 被保険者向け「けんぽニュース」(Web掲載)
- 新入社員向け「社会保険の知識」配布(4月)
- 「すこやかファミリー」配布(年4回)
- 医療費のお知らせ(Web掲載)
- 家族健診(レディース健診・特定健診・人間ドック・がん検診)案内書の配布(案内書4・10月)

健康増進・リフレッシュのために

- フィットネスクラブ「コナミスポーツクラブ」の利用料金の補助



公 告

■ 一般保険料率および調整保険料率は変更ありません

		令和6年		
		一般保険料率	調整保険料率	合計
負担割合	事業主	42.900/1000	0.680/1000	43.58/1000
	被保険者	39.800/1000	0.620/1000	40.42/1000
	計	82.700/1000	1.300/1000	84.000/1000
実施(予定)年月日		令和6年3月1日		

■ 組合規程の改訂

- 健康診断等疾病予防事業利用規程
 - 乳がん・子宮がん検査 補助の回数および支給限度額
(現行)年1回 一律5千円 → (改訂後)年1回 一律1万円
 - 女性被保険者が契約医療機関かつ日本ハム健康保険組合が指定する検診で受診の場合は無料とする。